

いいかも

青い空、うろこ雲、星の輝き、月に浮かぶうさぎの影に、秋の訪れを感じます。



可茂県事務所 振興防災課
家庭教育推進専門職 安田 早由里
〒505-8508
美濃加茂市古井町下古井 2610-1
TEL : 0574-25-3111 内線 208
FAX : 0574-25-3934
令和6年度 9月号 No.6

可茂地区トレジャーワード

育もう豊かな感性 ~泣いて、笑って、ともに歩もう~

美濃加茂市・可児市・坂祝町・富加町・川辺町・七宗町・八百津町・白川町・東白川村・御嵩町



「いいかも」
こちらから

~学びの秋を楽しみましょう~

学校再開と同時に、台風の襲来とそれに伴う雨への対応が重なり、少し慌ただしい休み明けになったかと思います。県内では西濃で被害が発生し、自宅待機の措置をとった学校もあったと聞きました。被災された方のご苦勞を思いつつ、少しでも早く日常の生活を取り戻していただけることをお祈りします。

さて、この間、季節は確実に秋に向かいました。あんなに暑かった8月に比べると、朝窓を開けた時の空気に清涼感が漂うようになりました。日が暮れる頃から、虫の音も大合唱です。各小・中学校で、運動会・体育祭も復活し、子ども達は、これから仲間と力を合わせて練習に汗や涙を流すことでしょう。飛躍する秋。充実の秋。大人も、学びを楽しみたいものです。

子育て・家庭教育学級等のミニ情報

<おもちゃ>

特に注意が必要なのが、「誤飲」です。小さな子どもは何でも口に入れてしまいます。おもちゃから小さな部品が外れ、それを飲み込んでしまうことがないように注意が必要です。少し大きいものだと喉をふさぎ、窒息死につながります。強い磁力がある部品であると、開腹手術を行い取り除く必要が出てきます。

また、おもちゃ自体ではなく、おもちゃのパッケージが薄く柔らかいプラスチック（ビニル）だと、これが顔に張り付いて呼吸困難に陥るといった事故も起きています。

子どもの周りにおける「危険」、確認と点検を！

~9月号では、三つの実践例を掲載します。~ 次頁より (P2~4)

- ・「国際たくみアカデミー」は、ものづくりに関する実践的な知識と技能が学べる県立の公共職業能力開発施設です。毎年、小・中学校が夏休みに入った最初の土曜日に、「親子しごと体験教室」が開催されます。「いろいろな体験をさせたい。」「将来の職業選択の幅を広げてあげたい。」と、引率の親御さんも積極的でした。
- ・家庭教育学級では、久しぶりの「校外視察」を楽しんでおられる様子取材しました。
- ・8月末には「株式会社 濃飛葬祭 様」にて、「企業内家庭教育研修」が実施されました。

今年は、過去最高に暑い夏となりました。そんな中、親子のふれあいや家庭教育について学ぶ機会を大切にされる皆さんの姿を、様々な場所で拝見させていただくことができました。ありがとうございました。





No. 8

親子 しごと体験 教室

「～しごとの魅力・発見～」

自らの手を使って「物を動かす」「生み出す」楽しさを、多くの皆さんに体感してほしい。そこで見つけた仕事の魅力が、将来の職業を選択する一つのきっかけになることを期待しています。親子で「モノづくりのしごと」を楽しもう！

R6.7.27(土) 9:30～11:20 県立国際たくみアカデミー内・各実習場にて

講師：国際たくみアカデミー職員・生徒・学生

団体協力者 38名

この体験教室の指導は、たくみアカデミーの生徒・学生・先生方に加え、地元のたくさんの事業所・団体の協力者が行っています。中には、厚生労働大臣から認定・登録を受けた、ものづくりマイスターの方もおられます。本物の技術・技能にふれられる貴重な時間です。

<プログラム>

・受付

- 1 開講式
- 2 団体様 PR
- 3 体験教室 (1回目)
- 4 片付け・まとめ・移動
- 5 体験教室 (2回目)
- 6 片付け・まとめ・アンケート記入
- 7 閉講式

<8つのコース>の中から、2つを選択し、前半と後半に分けて、親子で体験できるように企画してあります。

- | | |
|-------------------------|----------------|
| ※ ^{いもの} 鋳物製造体験 | ※新しいものをつくり出す体験 |
| ※測量・ドローン体験 | ※管工事体験 |
| ※大工体験 | ※ぬりかべ体験 |
| ※かわらぶき体験 | ※自動車の整備体験 |

① 鋳物製造体験



② 新しいものをつくり出す体験



③ 測量・ドローン体験



④ 管工事体験



⑤ 大工体験



⑥ ぬりかべ体験



⑦ かわらぶき体験



⑧ 自動車の整備体験

Q：参加の皆さん、この体験教室のことをどうやって知りましたか？

A：〇〇新聞で知りました。うちの子は、モノづくりが好きなので、いい経験になるかなと思って申し込みました。

A：学校からチラシを持ってきました。親も子も体験好きですから、参加してみようということになりました。

A：体験できる、それも2つも選べるというところが魅力的でした。

A：うちの子は、今、中3ですが、世の中にはいろいろな仕事があることをあまり知りません。こういう活動に参加することで、職業選択の幅を広げてあげたいと思い、参加することにしました。

本教室は大変人気があり、約350名の参加希望があった中から、当日は、当選した約70組の親子が参加していました。年1回の開催だそうです。近年、もっと開いてほしいという要望も多くあるようです。

岐阜県立国際たくみアカデミー

「モノづくり」においてそれぞれの分野で技を極めた職人たちを匠（たくみ）と呼びます。国際たくみアカデミーは、モノづくりに関する実践的な技能や専門知識が学べる公共職業能力開発施設です。



体験活動参加型

No. 9

可児市立東明小学校家庭教育学級

「モンテール美濃加茂工場 ファクトリーツアー」
 「楽しい体験をしたい！」そんな思いでこの見学会を年間計画の中に位置付けました。こちらの見学は、親子での参加が可能です。夏休みのひと時を、親子の思い出作りの場にしませんか？（学級長さんより）

モンテール美濃加茂工場にて
 参加者 ①R6. 8. 1（木）午前参加 15名 ※希望者が多く、3部制
 ②R6. 8. 1（木）午後参加 15名 で学級を行いました。
 ③R6. 8. 2（金）午前参加 14名

担当の方の案内で見学！



今回は、特別に撮影許可をいただいております。

この工場では、スーパーなどで販売されているシュークリームやエクレアなどの製造の様子を通路の上から見る事ができます。担当の方がこだわりの厳選素材や厳しい衛生管理についてわかりやすく説明してくださいました。
 カスタードは銅釜で炊いていることや工場内はほぼ無菌状態であることなど会社のこだわりについても教えていただきました。

おいしい やさしい たのしい
モンテール美濃加茂工場
 モンテールは、フランス語で、「**宝石職人**」を意味します。**産地直送型**の工場として、美濃加茂を含め全国に3ヶ所の工場があり、1日に約70～80万食のスイーツを製造しているとのことです。

子ども達との会話から
 ・「シュークリームを1時間で6千個作るよ。」という説明を聞いた時、子どもから「すごい！」と声が上がりました。
 ・「カスタードクリームの中に何が入っていますか？」という質問には、「たまご、小麦粉、牛乳砂糖」と、物おしせず答えていました。
 ・「このレーンの上には、何個くらい乗っていると思う？」、「100個かな1000個かな。」
 ・「あれが袋詰めしているところだね。見ると簡単そうだけど、大変そうだね。」「その分おいしいんだよね。」
 ※工場の様子や仕事について興味を示した子ども達から、たくさんのつぶやきとそれに応えるお母さん達の声が聞かれました。

記念撮影をして解散！



「家庭教育学級」についてお尋ねしました！
 ・友達からの誘いで参加しました。はじめはドキドキしました。お母さん同士の友達ことができました。
 ・一人で子育てするよりも、いろいろなことが聞けて、気持ちが楽になります。
 ・中学生の子をもつお母さんには、これから先のことがいろいろ聞けて、勉強になります。
 ・分からないことが相談できます。
 ※解散の後には、併設されている直売店で各々、買い物を楽しんでおられました。

研修視察が、復活しています。外に出て楽しく学んでおられます。

企業内家庭教育研修 講演会型



No.10

株式会社 濃飛葬祭 様

「命・性に関する講座」～家庭で伝える性教育～

成長期の子ども達に家庭で伝える教育の中で、親としてハードルが高いと感じるものは、命や性の問題です。しかし、生きていく上で、人の命・自分の命を大切にし、大人になって健全な家庭生活を営んでいくためには、正しい性の知識や情報を子ども達に身に付けさせることは必至であると考えます。職場内で本研修を実施することで命の大切さを伝えると共に、間違っ性情報から子ども達を守っていきたいと思います。

8/29(木) 10:00～11:15 濃飛葬祭本社西隣・終活てらすにて

受講者 10名 県事務所職員2名

講師：可児市役所 健康増進課 主査・助産師 山本 ちひろ 氏

次第

- ・ご挨拶（濃飛葬祭 様）
- ・講師紹介
- ・ご講話「こころ からだ みらい」
- ・感想交流
- ・お礼の言葉
（可茂県事務所 社会教育担当課長補佐）
※アンケート記入



ご講話「こころ からだ みらい」より

- ・性教育とは・・・
- ・性＝「こころが生きる」と書く 自分らしく生きる
性教育＝自分がどう生きるかを考える 自分も他者も大切にできる
- ・家庭で性を伝えるために
親の意識や価値観
性≠「恥ずかしいこと」「嫌らしいこと」
性＝「大切なこと」
- ・性を伝えるタイミング
小学校低学年までの子どもは、体や命について素朴な疑問を持つ。
この時がチャンス！
- ・性被害を受けないために
一番効果的な方法は、「子ども自身が自分を守ることに気づかせる」。
- ・多様な性 「LGBTQ+」について
- ・思春期性と子どもへの関り方 等

親子の対話
命の話ができる家庭に



本研修のテーマと内容について？ 大変良い（10）

本日の研修テーマと内容についてどう思いますか？

- ・入口として「命・性に関する」と聞くと、とっつきにくい感じがしたり、自分には関係がないと思ったりする人が多いと思うが、講座を受けるとそれが覆ってよい。
- ・「性」というワードが得意ではない。ただ、研修を受けたことで、自分の認識が狭かったと気づかされた内容だった。
- ・今、2歳の娘を育てている。小さい頃からの性教育が大切だという情報をよく耳にする。大事なことだと分かってはいるもののどう学ぶとよいかわからないなとも感じていた。今日の機会がとてもありがたかった。

本日の研修内容についてご家庭や職場でどのように生かしていけるでしょうか？

- ・自分を大切にするということへのアンテナが立つ。自分のセクシャリティや自分らしさについて考える時間をとろうと思った。
- ・子どもに「生まれてきてくれてありがとう」と伝えたい。
- ・性の多様性について、特に難しいなと感じた。自分の子どもも含め、職場で接する同僚、お客様に対して尊重できるようになれば幸せだなと思う。まずは知ること。知識や自分の当たり前を大切にしていきたい。
- ・性の多様性について理解を深めたい。

先生に本を紹介していただきました



＜皆さんのお勤め先でも、企業内家庭教育研修を実施することができます。詳細は、可茂県事務所 振興防災課 家庭教育推進専門職 TEL25-3111（内線208） にお問い合わせください。